

近藤雄生さん

刊行記念トークイベント

吃音きつおん

伝えられない
もどかしさ

2019年 講談社 本田靖春ノンフィクション賞
最終候補作

近藤雄生
Yuki Kondou

吃音おん

伝えられない
もどかしさ

「よくぞここまで吃音と向き合ってくれました。吃音を持つ者として、最敬礼。」

【音の鳥】
重松清氏 絶賛! 新潮社

7月3日(水) **入場無料**
16:30~@ フックセンターふらっと



近藤雄生 (こんどう・ゆうき)

1976年東京都生まれ。東京大学工学部卒業、同大学院修了。
2003年、自身の吃音をきっかけの一つとして、結婚直後に妻とともに日本を発つ。オーストラリア、東南アジア、中国、ユーラシア大陸で、約5年半の間、旅・定住を繰り返しながら月刊誌や週刊誌にルポルタージュなどを寄稿。
2008年に帰国、以来京都市在住。
著書に『遊牧夫婦』『中国でお尻を手術。遊牧夫婦、アジアに行く』『終わりなき旅の終わりさらば、遊牧夫婦』(以上、ミシマ社)、『遊牧夫婦 はじまりの日々』(角川文庫)、『旅に出よう』(岩波ジュニア新書)、『オオカミと野生のイヌ』(エクスマレッジ、本文執筆)。大谷大学・京都造形芸術大学 非常勤講師、理系ライター集団「チーム・パスカル」メンバー。
ウェブサイト <https://www.yukikondo.jp/>

立命館大学と直接のつながりはないのですが、家が近所で、よく図書館で仕事をさせてもらっています。本書も大部分をこちらで執筆しました。そんなご縁から、今回のイベントのお話をいただきました。吃音について、ノンフィクションを書くことについて、旅について。皆さんがこれからの生き方を考える上で参考になるお話をできればと思っています。ご興味ある方、是非いらしていただければ嬉しいです!